

JANIS 検査部門 アンチバイオグラム作成ツール 簡易マニュアル

『アンチバイオグラム作成ツール』を用いて、自施設のアンチバイオグラムが任意の期間を設定して作成することができます。

まず JANIS で提供している『重複処理確認ツール』で検査部門の還元情報（月報）CSV ファイル「全データ」の内容をまとめた CSV ファイルを作成し（STEP①）、つぎに『アンチバイオグラム作成ツール』でアンチバイオグラムを作成します（STEP②）。

ツールの入手方法

重複処理確認ツール

アンチバイオグラム作成ツール

参加医療機関専用サイト（検査部門でログイン）

<https://janis.mhlw.go.jp/janis/index.html>

重複処理確認ツール > 還元情報ダウンロード

アンチバイオグラム作成ツール > ソフト/マスタ/資料等

マニュアル > ソフト/マスタ/資料等

還元情報ダウンロード

2021 年

- 現在JANISの抗菌薬感受性の判定基準はCLSI2012（M100）
- PDFファイルやその他のCSVファイルでの特定の耐性菌の「検査部門特定の耐性菌判定基準」に準じています。
- CSVファイル「全データ」のMIC値は、2018年3月20日以下

2DCM_WEB **重複処理確認ツール**

- Internet Explorer、Microsoft Edge以外では使用しないで下さい。
- Microsoft Edgeでエラーが発生する場合は「[こちら](#)」
- 2DCM-webの使い方は「[こちら](#)」

ソフト/マスタ/資料等

ソフトウェア

名称	サイズ	更新年月日
アンチバイオグラム作成ツール	134,224KB	2020/04/07
箱ひげ図作成ツール	87,588KB	2017/08/31

マニュアル

名称	サイズ	更新年月日
アンチバイオグラム作成ツール 簡易マニュアル	1,478KB	2020/05/21
箱ひげ図作成ツールの活用法	360KB	2017/09/27
検査部門重複処理確認ツールマニュアル	663KB	2019/04/17
検査部門2DCM-webマニュアル	1,892KB	2019/04/17

STEP① CSV ファイルの作成

- 『重複処理確認ツール』を立ち上げる
- 医療機関コードと検査部門のパスワードでログインすると、メイン画面が表示される
- 表示メニューから抽出条件を指定し、「表示」をクリックする
- 指定した期間内のデータが表示される
- CSV ファイルの出力

重複処理確認ツール

対象期間: 2021年10月 ~ 2021年11月 入院/外来

抽出対象菌: すべて(検体提出患者数) **表示**

重複処理後 ID	生年月日	年齢	性別区分	性別	入院/外来	入院/外来	入院/外来日	病棟	診療科	診療科	検体番号
000000052000252	19580217	65	F	女	2	入院		N4W	507	泌尿器科	02021112
000000052000252	19580217	65	F	女	2	入院		N4W	507	泌尿器科	02021112
000000075000233	20211118	0	M	男	2	入院		N8N	401	小児科	02021111
000000075000233	20211118	0	M	男	2	入院		N8N	401	小児科	02021111
000000075000233	20211118	0	M	男	2	入院		N8N	401	小児科	02021111
000000075000233	20211118	0	M	男	2	入院		N8N	401	小児科	02021111
000000075000233	20211118	0	M	男	2	入院		N8N	401	小児科	02021112
000000093000010	19400810	81	M	男	2	入院		N7W	200	外科	02021111
000000093000010	19400810	81	M	男	2	入院		N7W	200	外科	02021111
000000093000010	19400810	81	M	男	2	入院		N7W	200	外科	02021111
000000093000010	19400810	81	M	男	2	入院		N7W	200	外科	02021111
000000093000010	19400810	81	M	男	2	入院		N7W	200	外科	02021111
000000133000069	19470303	74	M	男	2	入院		N3H	513	脳神経外科	02021111
000000133000069	19470303	74	M	男	2	入院		N3H	513	脳神経外科	02021111
000000205000225	19520806	69	F	女	2	入院		N8W	100	内科	02021101
000000205000225	19471216	73	F	女	2	入院		N8W	501	整形外科	02021101
00000044000271	19271115	94	F	女	2	入院		N8W	501	整形外科	02021101

CSV出力

表示メニュー

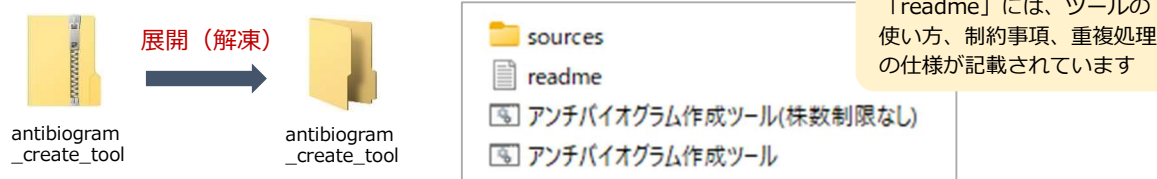
対象期間: 2018年4月以降に JANISへ
提出したデータ期間のみ選択可
入院・外来: 片方または両方選択可
抽出対象菌: 「すべて」を選択

最左の項目「重複処理後の患者」に○がついているデータが集計対象となる患者データとなる（なお、アンチバイオグラム作成時には同一患者から同一菌が検出された場合であっても、薬剤感受性結果に1つ以上不一致がある場合は異なる菌株として集計される）

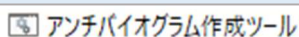
「CSV出力」をクリックして、CSVデータとしてデスクトップ等に保存する

STEP② アンチバイオグラムの作成

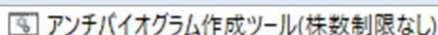
- ① ダウンロードした『アンチバイオグラム作成ツール』の ZIP フォルダを展開（解凍）する



2種類のツールにはこんな違いがあります



CLSIM39-S-A4 に準じ、集計株数が 30 株未満の場合はアンチバイオグラムが作成されません



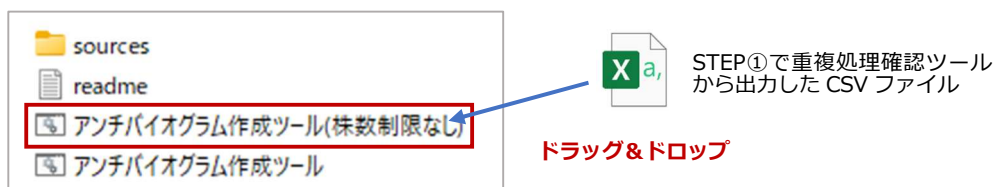
集計株数にかかわらず、アンチバイオグラムを作成いたします



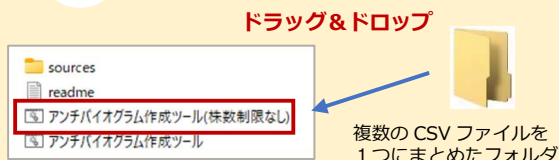
「現在、SmartScreen を使用できません」が表示されたら

「現在、SmartScreen を使用できません」は、初めてこのツールを実行する際に表示されることのあるメッセージです。このツールは安全ですので、「実行」をクリックして先にお進み下さい。一度「実行」をクリックすると、次回以降はこのメッセージは表示されなくなります。

- ② STEP①で重複処理確認ツールから出力した CSV ファイルを「アンチバイオグラム作成ツール」または「アンチバイオグラム作成ツール（株数制限なし）」にドラッグ&ドロップする

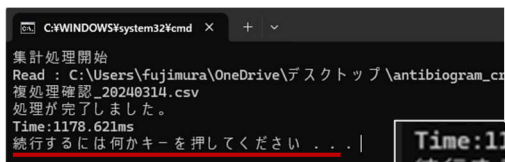


複数の医療機関のデータから、1つのアンチバイオグラムを作成する場合



患者 ID の付与ルールが異なる複数の CSV ファイルでも、1つのフォルダにまとめ、フォルダごとドラッグ&ドロップすると、別々の医療機関のデータがまとまった1つのアンチバイオグラムを作成することができます

- ③ 黒い画面が表示され、何らかのキーを押した後に集計が開始される



※ 何らかのキーを押さない限り、集計は開始されません

※ 動作中に不具合が生じた際は、この黒い画面のキャプチャを添付してお問い合わせください

Time:1178.621ms

続行するには何かキーを押してください...

④ 集計が開始され、自動でブラウザ（Chrome）が立ち上がり、JANIS 検査部門年報「主要菌の抗菌薬感受性」と同じ菌種・抗菌薬のアンチバイオグラムが作成される

Staphylococcus aureus (ALL)

判定基準: CLSI 2017 (M100-S27)
検体材料: すべての検体

●入院 ○外来 全件ダウンロード

判定基準: CLSI 2017 (M100-S27)
検体材料: すべての検体

●入院 ○外来 全件ダウンロード
Staphylococcus aureus (ALL)

Enterococcus faecalis
Enterococcus faecium
Streptococcus pneumoniae(髄液検体)
Streptococcus pneumoniae(髄液検体以外)
Streptococcus pyogenes
Streptococcus agalactiae
Escherichia coli
Klebsiella pneumoniae
Enterobacter cloacae
Enterobacter cloacae complex
Klebsiella aerogenes
Citrobacter freundii
Citrobacter koseri
Proteus mirabilis

Enterococcus faecalis
Enterococcus faecium
Streptococcus pneumoniae(髄液検体)
Streptococcus pneumoniae(髄液検体以外)

右ツールバーの菌名にカーソルを合わせると、集計対象としている菌名コードが表示されます

選択ボタンで入院検体/外来検体を切り替えることができます。
※初期設定は「入院」です

検査材料を切り替えることで、各検査材料のアンチバイオグラムを作成することができます
※初期設定は「すべての検体」です
※検査材料内訳は「read me」をご確認ください

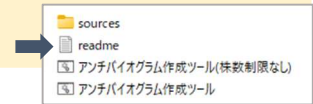
⑤ アンチバイオグラムの保存方法

画像として保存

1 件のみ保存する場合は、アンチバイオグラムをダブルクリック → 1 個の png ファイルが作成
全件保存する場合は、右上の「全件ダウンロード」をクリック → 24 個の png ファイルが作成
※ 複数ファイルのダウンロード許可を求めるダイアログが表示された場合、許可をクリックしてください。

PDF として保存

Chrome の印刷機能(Ctrl+P)で送信先を「PDF に保存」を選択
※ この処理にはマシンスペックによっては数分時間がかかる場合があります。



! 判定基準の切り替えが可能です
設定ファイルを変更することで、判定基準を CLSI 2007 (M100-S17)、CLSI 2012 (M100-S22)、CLSI 2017 (M100-S27) に切り替えることができます。

① アンチバイオグラム作成ツールフォルダ配下の sources/java/res フォルダの中の application.properties を開く
② 適用したい判定基準の行先頭の「#」を外す
③ 適用外の判定基準の行先頭に「#」をつける

```

#clsiVersion = 2007
clsiVersion = 2012
#clsiVersion = 2017
    
```

← CLSI 2012 が適用される